

佐保地区地域づくり計画書

高齢化対策とは

「できること」に取り組む「佐保地区」

令和8年4月
豊玉町 佐保地区

1. 地域の現状

- ・約30世帯、60人ほどの限界集落間近の地域
- ・数年前までは、高台にある公民館の庭で、10名ほどの高齢者が毎日グランドゴルフを楽しんで健康維持、コミュニケーションを図ってきたが、年ごとに他界される高齢者が増えグループで運動を楽しむ人数に到達しない現状である。

2. 地区の組織体系

- ・7年程前までは、地域の絶大なるリーダーが中心となり「佐保夢クラブ・20名程」を結成し、軽スポーツ大会やこぞって楽しめるイベントの企画、花いっぱい運動、つつじ苗の植栽事業等を実施してきた。
- ・特筆すべきは、佐保地区の地域マネージャー事業ではそのすべての中心組織として地区を支えてきたが、高齢化による弱体で勢いを失っている。
- ・現在は、15名ほどの老人クラブがリードした形で細々と地域コミュニケーションが図られ、わずかに地区総代、納税組合と並んで地区を支え続けるグループである。

3. 地区の主な活動

- 4月 地区総会・老人クラブ総会（グランドゴルフ大会）
- 5月 地区内清掃
- 6月 農道、市道の草刈り作業
- 8月 精霊流し
- 9月 地区敬老会（老人クラブ）
- 10月 ・敬老会 （弁当の配布と老人グランドゴルフ大会）
・山の神祭事 （午後は親睦グランドゴルフ大会）
- 12月 市道の草刈り作業・老人クラブ
- 2月 鹿、イノシシ防護柵点検、清掃
- 3月 地区総会
(毎月25日 地区定例会・納税組合)

4. 地区の課題、問題点

別添、自己診断表に記載

5. 課題、問題点の解決着眼点、資源の活用について

①生活・環境

注視事項	解決すべき時期			解決方法の具体的内容	
	今年中	3年目処	通年	実施主体	実施概要
火災対策	●			佐保地区	<ul style="list-style-type: none"> 消火栓の使い方を図示化し集会の折に徹底して周知
防火水槽 周辺整備			●	消防団員	<ul style="list-style-type: none"> 4名の地区団員の日頃からの積極的サポート シミュレーション徹底
買物 診療所 交通確保	●			佐保地域	<ul style="list-style-type: none"> 縁故関係だけでは解消できない事態にある 区民が親戚付き合いのつもりで助け合う日常をつくる
徐行運転	●			佐保地域 対馬市	<ul style="list-style-type: none"> 狭い道路を観光バスを含め大型の車両が頻繁に通行するため、徐行看板などで周知必要

②地域活動計画

注視事項	解決すべき時期			解決方法の具体的内容	
	今年中	3年目処	通年	実施主体	実施概要
生活館 保 存	●		●	佐保地区	<ul style="list-style-type: none"> 生活館の清掃、風通し 補修か所の点検 調理施設の点検清掃 広場の美化維持と海会塔の点検
伝 統 行 事 (祭 事)			●	佐保地区	<ul style="list-style-type: none"> 精霊流しの継続 設置、後片付けの共存意識、共助の確認 帰省者との触れあい
健 康 づ くり			●	佐保地区	<ul style="list-style-type: none"> こそって笑顔で触れあえる親睦親睦グランドゴルフ大会

③地域整備計画

注視事項	解決すべき時期			解決方法の具体的内容	
	今年中	3年目処	通年	実施主体	実施概要
道路補修		●	●	佐保地区 対馬市	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の危険箇所を市の道路担当者と意見交換（現地立ち会い）

環境美化 活 動			●		<ul style="list-style-type: none"> 市道、川の草刈り (特に夏場は必須)
森林整備		●		佐保地区 森林組合 対馬市	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備を地域的に取り組むため、林道の新設を要望 森林所有者は、最低7割の新整備を実施していく必要がある
海岸道路 整 備		●		佐保地区 対馬市	<ul style="list-style-type: none"> クジカ浜海岸道路は、大量の海洋漂着物の押し寄せる海岸として世界的環境汚染、環境保全のフィールドワークに活用されている。 地元の漁民の磯漁業の大切な導線でもあり、数年かけて整備する必要がある。

6. 地域づくりの基本計画

○高齢化を支える地域見守り体制の確保 「向こう三軒両隣の復活」

○一にも二にも、生活している住民が「ここで生きてきて良かった」と

納得できる幸福感の醸成と安全・安心を保てる地域づくり

地域の自己診断票

佐保地区

項目	調査内容	有無	摘要(場所や内容など)
防災 防犯	防災、防犯体制は整っているか。	いる	生活館の有効活用、海拔8mは優位 ただし、独居高齢者が増え、日々の安否確認の体制が希薄化してきた。
	防火水槽又は消化栓等は整っているか。	いる	
	災害時の報知(サイレン等)は整っているか また、かえって騒音を被っている家庭はないか	▲	放送機器の近所は高い音量に苦慮している面がある。
	排水路、道路側溝など安全のための設備(柵、蓋、照明、看板など)が設けられているか。	いる	5月、12月の道普請で区民ごぞって清掃活動を行い、適宜修正箇所は整備し直している。
	夜間、暗い所に防犯灯は設けられているか。	いる	旧式の電灯がほとんどで、LEDへの交換時期にある。 市に相談すべき箇所もある。
	雨が降ると水に浸かりやすい住居、生活道路はないか。	ない	5月、12月の道普請で区民ごぞって清掃活動を行い、適宜修正箇所は整備し直している。
	崖崩れや落石の危険にさらされている場所、生活道路はないか。	ある	クジカ浜への山間にある車道は、豪雨や風化による劣化で崩壊したか箇所が多々ある。
	災害の危険性がある時、公民館以外に非難する場所はあるか。	ない	
道 路	見通しが悪くて危険を感じているところはないか。	ある	イノシシ、鹿の防御網に草花のカズラなどが絡まり、柵が閉ざされるため、特に夏場は死角になるカーブに面した道路がある。
	道幅が狭く、危険を感じているところはないか。	ある	7~8年前の市の道路整備で、狭隘な箇所は川に面してガードレールが整備されたが、まだ一部海につながる河川沿いに危険箇所がある。
	車の通行量が多く、かつ歩道が無い為危険を感じているところはないか。	ある	近年、中型の観光バスや工事の大型トラックなどの往来が増え、危険を感じる地点はある。
	カーブミラー、交通標識等は必要に応じて設置されているか。	いる	
	地域内道路で段差があって、高齢者や障害者等に危険と思われるところはないか	ない	
子 の 憩 い の 場 な	子どもたちが自然とふれあえる場所、あるいは土の上で遊べる遊び場はあるか。	ある	平成24年度頃から活発になった佐保地区の地域マネージャー制度により、5年計画で公民館を区民の手で整備し、子や孫、ひ孫も遊べる場所が確保されている。
	住民みんなが憩える場所は？	ある	正に公民館が役割を網羅している。
健 康 生 活	健康を守るための食生活等についての勉強会を計画的に行っているか。	いない	老人会が活発な頃は、定期に集会が行われていたが、リーダーとなる人材も勉強会の対象となる区民も激減した。
	体力づくりのため、スポーツ活動などを計画的に行っているか(また、どこで)。	いる	区の総会や神社供養、お寺供養、山の神を祭る日など午後にはグランドゴルフの大会を催している。
	健康を守るための「家庭の日」や「農休日」が設けられているか。	いない	以前は、クジカ浜の磯開けにあわせた休漁日などは存在したが、今は高齢者ばかりで毎日が休養日みたいなもの。
環 境 ・ 衛 生	道はた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられないか。	いない	生産年齢を超えた高齢者が数名、交互に道路脇を草刈り機で整備してくれている。
	道路、側溝、集会施設、花壇などは、時期を決めて、一斉に清掃作業が行われているか。	いる	先にも記したが、道普請の決まった日程など、一斉に清掃活動は実施されている。
	生活排水が、直接、道路、耕地、用水路、河川などに流されているところはないか。	ない	
	河川などにゴミなどがたまりやすい所はないか。	ない	
	雑草が生えているところはないか	ない	時期的に、特に梅雨前後は草木が茂るが、定期に清掃が行われている。
	将来に残しておきたい自然(山、河川、景観地、珍しい動植物)があるか	ある	前述のクジカ浜への西面海岸道は、魚介類、海藻の豊富な磯として残しておくべきところである。 近年は、海岸漂着ゴミの環境汚染地域のモデルケースとして関係者が頻りに訪れるなど貴重なSDGsのフィールドである。
	地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されているか。	いる	公民館の周辺に古木もそびえ、危険性のある倒壊しそうな枯れ木は伐採し、ツツジ、さつきなど緑化活動は欠かされていない。

生活習慣・相互扶助	通勤、通学、買物、などにバス等の便があるか。	ある	通学バスがメインだが、足のない高齢者は、親戚の手助け等により何とか買い物、通院が可能である。
	食料品、雑貨など日常生活に間に合う程度の商店があるか(概ね2~3km)	なし	昔ながらの地域に根ざした地元商店は皆無
	病院、医院は近いか(車で10分以内)	ある	豊玉診療所は欠かせない区民の命の拠り所
	冠婚葬祭の合理化について、申し合わせがなされているか。	いる	
	日常の付き合いやしきたりの中で、住みにくさについて改善の話し合いや申し合わせがなされているか。	いる	
	集合時間の厳守、会合や共同作業への出席敢行、あいさつ敢行などの申し合わせがなされているか。	いる	
娯楽・文化	簡単な会議や集会など、人々が集まる施設が身近にあるか。	ある	正に地域の公民館は今も健在で、コミュニケーションの場、軽スポーツを楽しむ場として健在
	みんなで楽しめる祭りなどの伝統行事が、住民の賛同を得て計画されているか。	いる	山の神供養祭りなど、コミュニケーションの機会は息づいている。
	ふるさとの歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起こし、保存、伝承などが行われているか。	いない	80歳を超える高齢者はかりて伝統継承の時期は過ぎた。
	名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われているか。	いる	一期一会海会塔の供養など住職による法要など継承され続けており、定期的な清掃活動など欠かさない。
住民活動・自治活動	婦人会、青年組織、子供会、老人会などがあり、計画的に活動しているか。	いない	青年層も子供もほほいしない限界集落に近づいている。
	趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動しているか	いない	
	住民への連絡事項は速やかに伝えられているか。	いる	今でもって回覧板の威力は活かされており、区内無線も適宜効果的に用いられている。
	自治会の運営が円滑になされているか。	いる	
	地域の暮らしを高める活動が行われているか。	▲	高めることは不可能に近く、現状維持に努力する区民の姿である。
	年間予算が編成され、計画的に運営されているか。	▲	ただし、以前のように、磯の口開けなど頻繁な海の幸の資金源は乏しく区の会計は枯渇に向かっている。
	普段の暮らしで困ったことを、地域で解決する仕組みが作られているか。	▲	
	役員等の交代はスムーズに行われているか。	いる	ただし、どの地区も同様に、高齢の区民が交互に何度も役員を受け持つ事態は避けられない。
	単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透しているか。	いる	地域マネージャー制度で培った考え方は、まだまだ廃れてはいない。
	他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みができていくか。	いない	ただし、どの近隣地区も人がおらず、一緒になってグランドゴルフなど楽しみたいという風潮がでてきた。

資料 1	地域づくり計画の要点		
地区名	豊玉町・佐保地区	作成日	令和8年4月
項 目	内 容		
地域の現状・特徴	①世帯数 31世帯 ②人口 男32人 女34人 高い高齢化率（小中高校生総数5名） ③年間計画による地区総会、神社・寺法要、道普請など		
地域の課題、問題点	①生産年齢人口の希薄 ②相互による独居高齢者の安否確認の徹底不足 ③地域の自己分析（参照）		
活用したい地域資源	公民館周辺のコミュニティ広場・一期一会海会塔保存（観光客）		
課題解決の方法	①最上の課題、問題点のみに全力投球 ②できることを頑張る		
地域づくり計画	地区総会の機会を利用して計画策定会議を実施		
計画実行の見通し	あくまでも区民主導型で努力、継続 できることから優先		
計画の特徴	①継承行事は可能な範囲で続ける ②道普請などハード事業では、極力40歳～70歳の男性主導 ③できることをできる範囲で（少なめに）		
特筆すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・生きていく、存続していくための地域づくり計画が必要 ・体裁の整った計画書は不要 ・とにかく残された区民が少しでも永く、健康で生きがいのある人生をまっとうできるお手伝いのできる計画づくり ・その実現のための実働計画であること 		

【佐保地区地域づくり計画書】

計画の分野

①	<p style="text-align: center;">医療・福祉</p> <hr style="border-top: 1px dashed red;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 90歳を超える高齢者は、縁故関係による送迎にとどまらず、地域は家族の姿勢で協力し合う。 ・ 介護職に携わる区民主導のサービス等へのスムーズな誘い 	④	<p style="text-align: center;">運動、会話のすすめ</p> <hr style="border-top: 1px dashed red;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ グランドゴルフ大会の開催が近年の主流であり、日常雑貨など生活に役立つ懸賞商品企画 ・ 「笑顔の場面づくり」はコミュニケーションに活かす最たる手法
②	<p style="text-align: center;">災害対応、危機管理</p> <hr style="border-top: 1px dashed red;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 万が一に備えた豪雨災害等での救助、救援の動き方については、総会の折など有効に意見交換する時間を設ける ・ 火災に備えた消火栓・防火水槽の使い方を日常にポンチ絵を作成し確認し合う癖をつける 	⑤	<p style="text-align: center;">環境の保全</p> <hr style="border-top: 1px dashed red;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ クジカ浜海岸の価値の再確認と行動を促進 ・ 海の恵みにつながる磯の口開け時期に備えた海岸清掃を行政と一緒に取り組む（海岸道整備） ・ 海の恵みを佐保地区の資金源に ・ SDGs、環境保全フィールドへ
③	<p style="text-align: center;">地域安全活動</p> <hr style="border-top: 1px dashed red;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区近隣の目で防犯パトロールの役目を ・ 電話勧誘など金銭に関する悪しき事例を共有し合い高齢者を犯罪から守る ・ 交通事故の徹底防止策として区内の道路を高速運転させないマナーを促す看板作成 	⑥	<p style="text-align: center;">地域回復の推進</p> <hr style="border-top: 1px dashed red;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超高齢層の少数精鋭で、幸せを分かち合える趣味・遊びの充実 ・ 農業促進、水産業支援、養蜂など付加価値を生みながら笑顔を回復し、素直に助け合いのできる地区を再興する

キャッチフレーズ（最終目標）

◆ 肩肘張らずにできることを。ゆっくり楽しく、明日もまたみんな笑顔で会おう。